

-----9月3日-----

2018年

※ 今週のアウトルック (9/3~9/7)

先週は円安方向のレジスタンスラインをブレイクできなかったことにより、利益確定などからの円高への動きが、週後半増えてきました。

今週は、週末に米国雇用統計の発表を控え、動きづらい展開となりそうですが、発表後に再びレジスタンスブレイクに動く展開も、想定しておいた方が良いでしょう。

先週のドル円は、週中に112円付近のレジスタンスブレイクに行く動きが強くなりましたが、ブレイクに失敗すると円高方向へ戻しています。

今週は、週末に米国雇用統計を控え、動きづらい展開となりそうですが、雇用統計の結果が良いものであった場合には、再びレジスタンスブレイクを狙う動きが強くなるように思います。

ドル円の予想レンジは110円から112.5円です。

ユーロ円は先週中盤に、131円付近のレジスタンスブレイクに失敗すると、円高方向に戻して128円台で週末を迎えています。

今週は、米国雇用統計発表後の動きが注目されますが、ユーロドルがテクニカル的にそろそろ折り返し地点に差し掛かっていることから、一度ユーロ安に向かう可能性がやや高いようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは125円から130円です。

ポンド円は146円付近のレジスタンスをブレイクできず、週後半はポンド安の流れが強くなってきています。このまま143円を割るようなことがあれば、再び140円付近のサポートラインブレイクを狙う動きが活発化するように思います。

ポンド円の予想レンジは139円から147円です。

トルコリラ円は、停滞状態から再び16円以下を試そうとする動きが活発化しています。もし、16円を割ってしまった場合には、ユーロへの影響が気にかかります。また、トランプ大統領の発言には、注意を傾けておく必要がありそうです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。